

令和6年度松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会会議録

1. 日時 令和7年2月5日(水) 10時00分～11時00分

2. 場所 松江歴史館 歴史の指南所

3. 出席者

(1) 委員 浅沼 政誌(委員長)、松浦 俊彦(副委員長)、松浦 哲次(副委員長)、
飯塚 真敏、野津 照雄、稲場 英司、古藤 弘巳、安部 登

(2) 事務局

(松江市)文化スポーツ部長 桑原 賢司、事務局長 岡田 美穂、学芸係長 大島 典子、
新庄 正典、笠井 今日子、安部 万智

(指定管理者)株式会社さんびる 施設管理部長 植野 裕之、
松江歴史館支配人 平井 利和

4. 内容 (1) 開会

(2) 部長あいさつ

(3) 新任委員の照会

(4) 委員長、副委員長の選任

(5) 議事

①令和5～6年度の運営状況について

②令和7年度の運営方針について

③その他

(6) 閉会

5. 会議経過

(1) 開会

岡田事務局長 ただいまより、令和6年度 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会を開催させていただきます。

私は、松江歴史館事務局長の岡田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、松江市文化スポーツ部の桑原部長より挨拶申し上げます。

(2) 部長あいさつ

桑原部長 文化スポーツ部長の桑原でございます。本日は大変お忙しい中、足元大変悪

い中ホーランエンヤの運営協議会に委員の皆様にお越しいただきまして大変ありがとうございます。また松江市の文化行政につきまして日ごろからご理解ご協力頂きまして、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。ありがとうございます。先日五大地の総会の方にお邪魔させていただきまして色々と意見交換をさせて頂いたところでございます。ホーランエンヤ 2029 年、令和 11 年に向けまして、五大地の皆さまがご準備されていると聞きまして、我々も準備していかないといけないと思ったところでございました。

私は 4 月に文化スポーツ部長になりまして、この運営協議会初めてでございまして、ホーランエンヤのことをお話しさせていただきますと、前回の 2019 年令和元年のホーランエンヤの時に、私はジョギングが趣味でございまして、あの日も朝 6 時半くらいから宍道湖湖岸や大橋川を走っておりましたら、7 時前に市民の皆様が、ホーランエンヤを観覧されるのに場所取りをシートを広げて準備されているのを見たのを覚えております。市民の皆様も非常に楽しみにしておられる行事だなと思ったところでございます。伝承館の設置の目的が保存伝承、それからホーランエンヤのさらなる発展、広くホーランエンヤのすばらしさを伝えるという事で観光客の方にも来ていただくためにも伝承館があるのかなと思っているところでございます。次のホーランエンヤ当日に向けましてですね、伝承館の展示を見て頂いて、素晴らしい展示でぜひ実際にホーランエンヤを見に来たいと観光客の皆さんにも感じて頂けるような展示にしていきたいと思っているところでございます。本日は、本年度の取り組み状況、来年度に取り組むことなどについてご審議頂きたく思っております。委員の皆様におかれましては忌憚のないご意見を頂きながら、本日の会を進めさせて頂きたいと思っているところでございます。どうぞよろしくお願い致します。有難うございました。

岡田事務局長 続きまして、指定管理者の㈱さんびるの植野部長から一言ご挨拶申し上げます。

植野部長 失礼いたします。皆様おはようございます。私、株式会社さんびるの施設運営部部長の植野と申します。本日は宜しく願いいたします。私たちさんびるはですね、本業はビルメンテナンスの会社なんですけれど、近年は子供の学童塾だとか高齢者の介護予防事業、指定管理事業ということで多角的に事業を進めているということでございます。この松江歴史館とホーランエンヤ伝承館につきましてもですね、会社のモットーといいますか、目標であります地域と共にという言葉を社員全員が目標として、日々活動しているところであります。このホーランエンヤ伝承館の運営協議会は初めて参加させて頂きます

が、なかなか知識や経験が無い中ではありますが、皆様と一緒にこの地域を盛り上げていくためにこれからも、精進していきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いします。

岡田 事務局長 それでは、はじめに資料を確認させていただきます。まず、「会議次第」、「委員名簿」、「席次表」、ホチキス止めしてある「会議資料」、それに付随した別紙 1 と 2 がございます。このほかに、現在開催しております松江歴史館館蔵品展「大橋茂右衛門」のチラシとみどころガイドをお配りしています。

ここで、委員の皆様の本日の出席状況についてご報告いたします。本日は、委員 8 名全員にご出席をいただいております。「松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会規約」第 5 条第 2 項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

(3) 新任委員の紹介

岡田 事務局長 続いて次第 3 の新任委員のご紹介をさせていただきます。令和 6 年 3 月 31 日をもって前委員の任期が満了し、改めて 4 月 1 日に委員の委嘱をさせていただいたところです。委員の改選にあたり、稲場久和 前委員から退任の申し出がありましたので、後任として福富ホーランエンヤ保存会長の稲場英司様にご就任いただいております。

本日は、委員改選後はじめての対面での運営協議会となりますので、委員の皆様さに自己紹介をお願いしたいと思います。それでは出席名簿の上から順番をお願いいたします。

飯塚委員 今日は本当に雪が降りまして足元がえらいことでありましたけど、私は伝承ホーランエンヤ馬潟会保存会の副会長の飯塚真敏といたします。よろしくお願いいたします。

松浦委員 失礼いたします。伝承ホーランエンヤの矢田保存会長をしております松浦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

野津委員 おはようございます。伝承大井ホーランエンヤの保存会長をしております野津照雄と申します。よろしくお願いいたします。

稲場委員 失礼します。皆様おはようございます。初めての方もおられますので、自己紹介の方若干させていただきます。令和 6 年度から福富ホーランエンヤ保存会の

会長の名を前会長から頂きまして、改めてこの席に立っているところでございます。令和3年まで松江市役所に在職しておりまして、早期退職いたしました。今、自主事業と松江市制に若干お手伝いという事で会計年度任用職員をしております。皆さんとこうしてホーランエンヤ伝承館のために尽力できることを微力ではございますが、協力していきたいと思っておりますのでぜひともよろしくお願いいたします。

古藤委員 おはようございます。福富の会長さんは素晴らしい挨拶をされるので、大海碕伝承ホーランエンヤ保存会会長の古藤弘巳と申します、よろしくお願いいたします。

安部委員 元松江郷土館の館長をしておりました、安部でございます。よろしくお願いいたします。

松浦委員 失礼します、松江商工会議所専務理事の松浦でございます。よろしくお願いいたします。

浅沼委員 おはようございます。昨年の4月から松江市の文化財課さんのほうでお世話になっております、浅沼と申します。ホーランエンヤ4年後ということで先ほど部長さんからお話ありましたけれども、私も阿太加夜神社の総代の一人として準備に入っていけないといけないという事で、先般ちょっと一緒に五大地の皆様にお出かけ頂いて松江市の皆さんとの協議に参加してまいりました。伝承館の方もそれに連動していかれると思っております。また引き続きよろしくお願いいたします。

岡田事務局長 皆さま、有難うございました。続いて事務局職員を紹介させていただきます。
冒頭でご挨拶しました文化スポーツ部の部長桑原、さんびる植野部長、松江歴史館の学芸係長大島、事務局安部、学芸員の新庄、学芸員の笠井、さんびる支配人の平井、以上が事務局職員になります。どうぞよろしくお願いいたします。

(4) 委員長、副委員長の選任

岡田事務局長 続いて、次第4の委員長、副委員長の選任についてでございます。本協議会の規約第3条で、委員の中から協議会において選出すること規定されております。これについて事務局で腹案を持ち合わせておりますが、ご説明させていただいてもよろしいでしょうか。

(承諾)

岡田事務局長 事務局の案といたしましては、委員長には引き続き、松江市文化財課歴史史料調査員の浅沼委員に、また副委員長には引き続き、商工会議所の松浦俊彦委員、矢田保存会の松浦哲次委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(承認)

岡田事務局長 それでは、委員長を浅沼委員、副委員長を松浦俊彦委員、松浦哲次委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
委員長、副委員長には席のご移動をお願いいたします。

(席移動)

岡田事務局長 それでは次第に従いまして会議を進めさせていただきます。なお、発言の際はマイクをご使用いただきますようお願いいたします。
これより会議の進行は、同規約第5条第1項の規定により、浅沼委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

浅沼委員長 それでは、私の方で会議の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
なお、本日の審議内容は、非公開の案件はないと事務局の方から伺っておりますので、「松江市情報公開条例」に基づき、事務局で議事録を整理のうえ、情報公開したいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

(承諾)

(5) 議事

① 令和5～6年度の運営状況について

浅沼委員長 それでは、早速5.の議事に入らせていただきます。
「①令和5年度から6年度の運営状況について」、事務局から説明してください。

大島係長 松江歴史館学芸係長の大島でございます。それでは、私の方からご説明いたします。会議資料の1頁をお開きください。

まず、入館者数の状況でございます。令和5年度の入館者数は6,155人で、令和4年度より1.9%の減少となりました。入館者数は令和2年度・3年度と比べると増加していますが、令和元年度以前と比べると減っている状況になっております。また、入館者は、約8割が松江歴史館を観覧された方でした。松江歴史館を観覧された方は、同日ならばホーランエンヤ伝承館も無料で入館することができます。しかし、松江歴史館の観覧者全体から見ると、ホーランエンヤ伝承館にも来ていただいた方は約1割と少ない状況になっています。

また、今年度の12月までの入館者数は5,775人で、昨年度と比べ857人増加しています。特に11月は学校の観覧者が増え、11月だけで昨年度よりも619人増加しています。歴史館からの誘導率は約2割で、歴史館の受付で、無料で入館できる旨をお知らせしている効果がでているかと思います。また、外国人の入館者数も昨年度より増加しています。特に中国・台湾からが多い傾向にありました。

続いて、主な取り組みについてご報告いたします。資料は2頁をご覧ください。まず、教育・普及の取り組みについてご報告いたします。平成28年にスタートした松江城授業プロジェクトでは、市内の小学6年生が松江城と松江歴史館の見学を通して松江の歴史や文化を学んでいます。このプロジェクトでは、ホーランエンヤ伝承館のリーフレットを全児童に配布して学ぶ機会を提供するほか、できるだけ伝承館の見学をプログラムに取り入れていただくよう小学校に積極的に呼びかけています。その結果、全34校のうち令和5年度は13校、令和6年度は19校の見学がありました。授業プロジェクト以外にも、竹矢小学校等から出前授業の依頼、市内中学校等から令和5年度は3校、令和6年度は9校からインタビューの依頼があり、歴史館職員が説明等を行いました。

次に展示の状況についてです。令和6年度は多目的ホールを活用し、色鉛筆画の展示を計画していました。作品は、令和元年開催されたホーランエンヤについて、權伝馬船や剣權・采振りなど色鉛筆で描かれています。しかし、作者がお亡くなりになられたため、今回は中止することにしました。

次に情報発信についてです。3頁目をご覧ください。昨年度の運営協議会で委員の皆さまから松江のホーランエンヤの記録選択について掲載した方がよいのではないかというご意見をいただきました。記録選択されたことは重要なことで、多くの方に知っていただくためにも、現在、ホームページに掲載しています。

また、昨年度はホームページに大正4年以降に実施されたホーランエンヤの写真に掲載したのですが、今年度はさらに平成21年と令和元年のホーランエンヤの様子を撮影した動画を掲載しています。

次に施設の維持管理についてです。以前に運営協議会で委員の皆さまから中庭の櫓伝馬船の塗装がとれているというご意見をいただき、今年度、船の塗り替えを行っています。また後日、実際に伝承館で見いただければと思います。

以上で、令和5年度から6年度の運営状況についての説明をおわります。

浅沼委員長 ありがとうございました。ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等がありますでしょうか。昨年の協議会でお願いしておりました記録選択の情報のホームページへの掲載とか船の塗りなおしなどをしていただいておりますが。

古藤委員 すいません、ひとつお伺いしたいんですけど、出前講座とインタビューの対応これについて恐らく学芸員の方等が説明されてるかと思うんですけど、どういう内容の話をされたのか、どういう内容の質問があるのか教えて頂ければと思います。

大島係長 出前講座については、職員が小学校等へ行きまして、パワーポイントを使用し話をさせていただいております。ホーランエンヤを全く見たことのないとか、歴史について知らないという方に松江に江戸時代から続く船神事である歴史を紹介しまして関心を持つきっかけになるようにお話をさせて頂いております。

インタビューにつきましては主に中学一年生が多い状況になっておりまして、質問内容としてはホーランエンヤの起源についていつから始まったのかとか、なぜホーランエンヤといわれているのか名前のいわれ、十年に一度なのは何故なのか、船を使うのはなぜか等の質問が多い状況になっております。あと、後継者の育成・継承そういった事についても今の状況を聞かれることが多いかなと思っています。またインタビューにあわせまして、せっかく伝承館に来てもらっているので皆様にシアタールームでホーランエンヤを紹介した映像を見てもらうようにしておりまして、見てもらったうえで展示室の方も見てもらい、関心を深めてもらうようにしている状況でございます。

古藤委員 はい、ありがとうございました。

浅沼委員長 他にございますか。

飯塚委員 入館者の人数出ておりまして8割位が歴史館からの入館者という事ですけども、地元の方が来られる人数はどれくらいおられるんでしょうか。お聞か

せ願いたいと思います。

大島係長 地元の方なんですけど令和 4 年度コロナ禍前なんですけど、入館者すべての方にどこから来たか連絡票を書いてもらってまして、令和 4 年度の状況ですと地元の人が 4 割位でした。今現在は、アンケートで分かる範囲で数としては少ないんですが、市内の割合は 39%そういった状況でございまして、それ以外の市外の状況でございましてと東京とか広島とか兵庫とかそういった交通のアクセスが良い所からいらっしゃっている方が多いように思います。

飯塚委員 ありがとうございます。

浅沼委員長 私からひとついいですか。先ほどの質問でありました、インタビューの対応なんですけど、だいたい出前講座にしても伝承館を見学した小学校とかみましても、市内の学校がほとんどですけれども、インタビューを見ると、浜山中学校とか安来の中学校とか市外の学校が来ていますがこれはこういった動機で来ているのでしょうか。

大島係長 そうですね、市内については松江城授業で伝承館の見学もしてもらえる旨を伝えたり、出前講座のお知らせをして、こういった事をしますよとかお伝えしているのですが、特にインタビューの関係とか市外の学校に対してこういった対応をしますよとか働きを行ったことは無いんですけど。そうですね、いらっしゃることがありまして。聞いてみるとホーランエンヤについて関心を持って学校の方で取り組んで勉強をしているというふうに言われることが多いように思います。この間は、雲南市の加茂の中学校から電話でインタビュー対応して欲しいと連絡がありまして、どうしてそういう風なことを思ったのか聞いてみたところ、学校で取り組んで勉強していて、その上で疑問に思ったことがあったので実際に伝承館に聞いてみたいというような事がありました。市外の方も関心を持って取り組んでおられる学校が増えているのかなという風に感じます。

岡田事務局長 すいません、そういった所は統計をとっていないので、実際にどうなのかというのはなかなか分からないんですけど、学校では松江城授業につきましても、江戸時代の歴史というカリキュラムの中で教育指導要領の中のひとつとして、ふるさと教育という面もありますけれども、他の県内でも祭というものがひとつあると思います。そういった中で全国的な祭もありますし、県内の祭もピックアップして学んでいく中で、ホーランエンヤというものが一番身近

で伝承館というものがあり、聞きに行ける場所としてひとつ選ばれているのではないかと考えられます。

野津委員 すいません、ご苦勞様です。ひとつ教えて頂きたいのですが。展示の方ですね、まあ6年度は残念ながらお亡くなりになったけれども、実際の色鉛筆絵画をこの間5大地の方で話させてもらって、要望のある物については購入という話もありました。それからあと、具体的に各五大地の方でどこそこさんはまだ2部・3部とかあるのでと寄贈を受けたんですけど、まあ中止になったのは残念ですけども、それはもう一旦これで終わりですわね？

それで次、采振りとか剣權、衣装の着付体験というのがありますけれども、これについての具体的な小学校なのか中学校なのか分かりませんが、来られた方に要望あらかじめ学校にはそういったものを取り寄せて、その結果としてされていると思うんだけど大体何人くらいの方がされて、着付けの仕方はこれは誰が着付けされますか？指導員さんなのか、ホーランエンヤは各五大地によって色々と違いがあると思うのでその辺はどの辺までされるのが基本かなとちょっと気になったので。具体的に何人くらいがされて、実際に着付けをしてもらった方は何人で、例えばその写真でもどっかにあるか教えて頂けたらと思います。

平井支配人 松江ホーランエンヤ伝承館の支配人の平井です。よろしくお願いします。着付けの方に対してですが、設置して日が経っていないのもありまして、実際されている所はまだ見受けられません。学校へは呼びかけ等をしている訳では無く、来館されたお客様の目につくところに着物と着付けの仕方、一般的な仕方にはなっているんですけど、それを掲示しお客様の方から要望があればどうぞお使いくださいという形で、フリーに使っていただくという形を取っております。今後は学校へのアピールとかいうのも含めて色々検討していきたいと思っている所でした。

野津委員 具体的には、実績はないという事でしょうか。

平井支配人 まだございません。

古藤委員 今の着付けの話の部分ですけど、お話を伺っていると一般的な着付けの部分をとされておる訳ですけどもまあ基本的にホーランエンヤの伝承という形になると一般的な着付けは？と思いますよ。そういうのは伝承にならないわけですから。先ほど大井の会長さんが言ったように、五大地が違った着付けが

あるわけですから。それをなかなか難しいから一般的な着付けをやっとられると思うんだけど、そういう安易な考えは止めた方がいいと思うんですけど、いかがでしょかね。

平井支配人 はい、今言われた通り今後その着付け等のやり方等をご教授頂きながら、進めさせていただこうと思いました。有難うございます。

安部委員 今、6年度の①はどういう意味でしょうか

大島係長 展示の方の①でしょうか？

安部委員 2 頁。令和元年に開催された展示を計画という項目はどういう意味ですか。

大島係長 多目的ホールを活用しまして展示をしたいと考えておりまして、具体的には令和元年に開催されたホーランエンヤの櫓伝馬船とか剣櫓を描いた色鉛筆画の展示を計画していたんですが、作者がお亡くなりになられたので計画を中止にしたということになっております。

安部委員 これまでは色鉛筆、この、紹介する展示があったわけですね。

岡田鞆副 そうですね、令和6年度に看板を書かれる絵師の方がおられるんですけど、その方が2019年、令和元年に行われたホーランエンヤの絵を書いておられた、その絵を令和6年度に展示をさせて頂こうとしていたんですが、作者がお亡くなりになられてその展示が叶わず中止にさせて頂いております。

安部委員 はい、ありがとうございました。

浅沼委員長 他にございますか。

稲場委員 少し前に戻らせて貰って、入館者数の所でご説明のあった令和6年度の実績で中国・台湾など外国の方が訪れる人数が多くなった、伸びてきているというお話がございました。この外国人の方に伝承館の説明をする場合に、文字でコメントが書いてあるだけなのか、音声案内が中国語に対応しているのか、後は携帯にアプリを入れると案内をしてくれるような取り組みは実際にされているのでしょうか。

大島係長 はい、しておりまして、ポケット学芸員というアプリがありましてそちらをダウンロードしてもらおうと、音声ガイドで外国語でも聞くことが出来まして、日本語、英語、フランス語、中国語、韓国語で対応している状態になっております。また、リーフレットも作成しておりまして、フランス語、中国語、韓国語、英語で作成しておりまして伝承館に設置しております。

② 令和7年度の運営方針（案）について

浅沼委員長 それでは、次に令和7年度の運営方針について事務局から説明をお願いします。

大島係長 会議資料の4ページをお開きください。

市民に親しまれる施設を目指し、関心や理解が深まるような取り組みを引き続き行うとともに、効果的な広報を行い、入館者数の確保に努めていきたいと思ひます。また次期ホーランエンヤ催行まであと5年をきっています。徐々に機運を高めるような取り組みを計画的に行っていきたいと思ひます。

目標の入館者数ですが、前回のホーランエンヤ催行前が8千人前後でしたので、その8千人を令和7年度の目標としたいと思ひます。

まずは館全体に関わることでございます。

令和7年度は入館料の料金改定を実施します。松江市では公共施設使用料設定の基本方針というのがございまして、これに基づいて、3年ごとに使用料の見直しを行っております。近年の特に光熱費・人件費の上昇に伴いまして、維持管理費が増加する中で、施設を継続して維持していくために、入館料を令和7年4月1日より改定することになりました。

改定後の料金については、別紙1をご覧ください。別紙1に改定前後の料金を書いてあります。大人は200円を270円に、小中学生は、100円を140円に改定します。改定率は1.37倍になります。市の方針として、観光客の利用が多い施設は現行料金の1.5倍を上限に改定することが示されました。伝承館は、松江歴史館と一体として運営している施設で、松江歴史館とともに観光客の利用が多い施設に位置付けられています。松江歴史館が全体の必要コストと周辺施設の状況から1.37倍の改定率となり、それにあわせて伝承館も1.37倍の改定率となりました。

また、今回から、市民への負担軽減・暮らしの充実の観点から、市の方針として、入館料に市民料金を設定することになりました。4月1日から松江市民は大人140円、小中学生は70円となります。市民料金の導入にあわせ、多くの市民の方に来ていただけるようにPRしていきたいと思ひます。

資料の4ページを再びご覧ください。

今回料金を改定しますが、それとあわせて、令和 7 年 4 月 1 日から入館料の減免基準について、一部改定を行います。減免は、市の基本方針では真にやむを得ない場合に限定して行う旨が書かれています。そのため今回、改めて見直しを行い、本市が所管する松江城周辺の観光施設の学校の減免は市内のみになっていたことから、周辺施設にあわせ、学校の入館料の減免について見直しを行いたいと思います。これまで学校の授業にともなうものは、市内外対象にしていますが、令和 7 年 4 月 1 日以降は松江市内の学校に限定するように改定していきたいと考えております。

次に教育普及についてです。主な取り組みといたしましては、引き続き松江城授業プロジェクトにおいて、できるだけ多くの小学校に伝承館の見学を働きかけたいと思います。10 年に 1 度の神事ですので、どうしても実物を見ることができない子どもたちもいます。そうした子どもたちにもふるさと松江の誇るホーランエンヤについて知る機会を作っていきたいと考えています。

次に展示についてです。次期ホーランエンヤの催行に向けて機運を高めるため、また、多くの方に入館してもらうため、多目的スペースでの展示替えを計画しています。別紙 2 をご覧ください。

こちらは多目的ホールの展示の企画案になっておりまして、来年度の令和 7 年度から松江ホーランエンヤ催行の令和 11 年度までの展示計画となっております。昨年の協議会の方で権伝馬船の大きさも華やかさの一つなのでそういったことが分かる展示や権伝馬船の事が分かる展示をしたらどうかというご意見を頂きました。このご意見を基にしまして令和 7 年度は大きさや擬宝珠などの船の飾り付けの意味合いを紹介できる展示ができればと考えているところです。令和 8 年度は近隣のホーランエンヤに似た船神事を取り上げたいと思っております。そして令和 9 年度から 11 年度はホーランエンヤの準備状況を写真等で紹介したいと思っております。特に、9 年度は可能ならば子供ホーランエンヤの練習風景を取り上げさせて頂きたいと考えております。また令和 10 年度、11 年度は以前運営協議会で委員の皆様から提案頂きました内容を基にしまして、市民の皆様からホーランエンヤの写真を募りまして展示をしたいと思っております。そうする事により、機運を高めたり新たな発見につながるようになるのではと思っております。そして令和 11 年度催行時には、見学スポットを紹介したり、催行後の写真を展示したいと思っております。

計画案は、松江歴史館の職員で検討したものですので、ぜひ委員の皆様のご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

そのほか、利用促進等については指定管理者から説明します。

平井支配人 利用促進等については、松江歴史館、松江ホーランエンヤ伝承館支配人の平井が説明させていただきます。今回は着座にて説明させていただきます。

会議資料の 4 頁の利用促進をご覧ください。ホームページや SNS を積極的に活用して、利用促進に繋げていきたいと思っております。歴史館内の玄関ホールに伝承館の案内 POP とホームページの QR コードを設置しております。引き続き実施できる事を行い、ホームページのアクセス数の増加を増やしていこうと考えております。

営業訪問・広報による利用促進については県内外の旅行会社や観光関連施設等に営業訪問を予定しております。明日からは、名古屋へ行き来年度の下期のツアーに向けたプレゼンを行って参ります。

館内案内表示については、お客様が分かりやすいようにインバウンド客対応も常に考えながら改修・改善をいたします。

誘客イベントの開催、宿泊施設・観光施設との連携、その下の松江歴史館観覧者の伝承館への誘導強化については、歴史館から伝承館への誘導は現在も行っていますが、さらに強化して誘導できるような仕組みを作っていきたいと思っております。その一つとして伝承館の PR チラシを作成し、歴史館内や周辺施設に設置してもらうことを考えております。

また来年度は松江城国宝 10 周年と NHK 朝ドラ「ばけばけ」がございますので、それに関連したイベントも実施し、伝承館への誘導を強化してまいります。そしてホーランエンヤ開催まで 5 年を切りましたので、そこに向けた関連イベントも今後実施したいと考えております。

次の頁をご覧ください。施設管理についてです。委託業者と連携し、仕様に沿って適切に維持管理を行います。修繕する際は松江市と協議したうえで実施してまいります。

接客対応については施設アセスメントの実施を年 2 回しております。これは利用者が安心安全にご利用いただけるように、指定管理者職員全員で約 8 時間かけて行う会議です。内容は 6 か月の振り返り、お客様満足度向上のための業務見直し、改善活動の行動計画を立てるものです。質の高い接客、対応を目指して前進してまいります。

最期に外部講師による接客研修については 2 週間前に実施いたしましたので、この学びを半年毎の施設アセスメントに落とし込み、振り返り見直しを行い、来年度の活動に生かしていきたいと考えております。

大島係長 令和 7 年度の運営方針の説明は以上です。

具体的な取組みにつきましては、来館者の声や五大地の皆様のご意見を伺いながら検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願います。

浅沼委員長 ありがとうございます。

野津委員 ひとつ教えて頂きたいのですが、多目的ホールの展示についてですが、令和7年度具体的にのぼりや擬宝珠などの実物を展示して云々とあるのですが、例えば五大地の馬淵さんのをやるんですかとか、そういうお話の考えでもいいんですか。

大島係長 こちらの方はまだ企画案で、今回委員会の方で皆様に案を見て頂きまして、進めてよければ実物をお借りできる地区があるのかどうか、そこら辺も相談させて頂きたいと考えているところでございます。具体的に進むのはこれからというところでございます。

飯塚委員 予備があるところとか、当たってもらって、色々あると思いますので。

大島係長 去年の委員会でそういったご意見もあり、大きさの分かる展示ができるといいと思ひまして書かせてもらいました。実際しようと思うと皆様のご協力を頂く形になっていくのかなと思います。お持ちでお借りできる地区というのはあるのでしょうか。

野津委員 まあそういった事は五大地に、任せて。協議会があるんだから。そこで話してもらって。

飯塚委員 そくら辺の所は2つ位予備がある所になると、本番に使うまでは出せるところとかあると思いますので。そくら辺は協力してもらって。どういうふうな物が欲しいのか、展示したいのかという話があれば、検討していきたい。

大島係長 ありがとうございます。皆様に承認いただけましたら、具体的にお話させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

浅沼委員長 令和7年度の展示については、事務局の方で案を作って、五大地と調整をはかりながら、やっていただきたいと思います。今、野津さんの方から令和7年度のほうのご質問が出ましたけれども他にございますか。

松浦副議長 次回の催行に向けて機運を高めるのは、非常に大事なことと思っておりますが、多目的ホールの展示が令和7年度から11年度になっています。実質、

11 年度が催行年だと思いますし、ホーランエンヤの催行は 5 月だと思いますので、全体的に前倒しで考えないと。例えば 10 年度に見学スポットの紹介をやっていないと、11 年度にやってももう遅いと思いますので、その辺りは少し早めに前倒しで考えられた方がいいと思います。もう一つ、今度は文化スポーツ部が松江市の催行の担当をされるのですか。前は観光部だったんですけど。

桑原部長 主は観光部です。文化スポーツ部も関わらせて頂きたいと思っております。

松浦副委員長 私も、城山稻荷神社の総代もさせて頂いているので、これから準備もかからないといけない思っておりますので。観光部と、実際まだ正式に決まったという事ではないなと思っておりますので、正式に決めて、準備をしていかないと我々の担当するのは多分お金を集める事なので。早めにやっていないと。前回の反省点でありますので、観光部とも、その辺りを早く決定してもらうと有難いと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

岡田事務局 ありがとうございます。多目的ホールの展示につきまして、ご意見を頂いた通りで、前回も前年度の後半辺りから人が増えてきているようなことがありますので、そういったことを見越したお客様に一番見て頂けるタイミングを考えて展示のスケジュールを立てていきたいと思っております。有難うございます。

飯塚委員 令和 3 年にホーランエンヤが記録選択されましたけれどもホームページを見ると理由としまして、水上だけでなく陸船による巡行がみられるというように複合的な船祭形態を有するという文言も入っております、これにつきましては中日祭の事ではないのかなと思っておりますが、展示の方は中日祭についての資料が余りないのではと思っております。

中日祭についても展示をして頂ければいいと思います。前回は松江市、その前までは旧東出雲町でしたので、なかなか松江市との関わり合いが無かったもので。出来ましたら、そのような中日祭も取り入れて頂ければと要望として考えておりますので、よろしくお願いします。

大島係長 ありがとうございます。確かに展示では、中日祭をあまり取り上げているところがないかと思えます。どのようなことが出来るか、持っている資料等を見ながら検討していきたいと思っております。

古藤委員 多目的ホールの展示についてですが、衣装とか写真、入口の大きな写真等も

そうですが、当初からのものであまり変わっていないですよ。そろそろ変えたい思いはありますか。衣装とかそういうのも。

大島係長 入口のところですよ。

古藤委員 いや、入口の写真もそうですけど、中の五大地の衣装なんか。個人的には今のままでいいんですけど、21年の分だから。

大島係長 確かにその辺のご意見も聞いているところですが、当初経費をかけて制作しているところもありましてなかなかすぐに対応はできない状況であります。なかなか難しいかなと。

古藤委員 あの写真は経費はかかるんでしょうけど、衣装は各五大地にお願いすれば持って来てくれるわけだから。

浅沼委員長 確か五大地さんは、補助事業で衣装は全部きれいにされたんじゃないかなかったですか。

古藤委員 あれは法被。

岡田鞆副 多目的ホールの展示は、色々そういった物もご相談させて頂きながら。基本展示室、常設のほうにつきましても、今申し上げました通り、当初の経費をかけて立派な、あれも分かりやすいという事で、非常に見て頂いた方に評判がいいので。衣装については替えるとしたら、ここだけという訳にはいかないので、提供して頂けるという話があるようであれば、五大地の皆様の総意によってという形になるかと思えますので。これからの展示についてもご相談させて頂く事になると思えますので、その中でそういった物も一つテーマとしてご相談させて頂ければと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

浅沼委員長 新年度の運営方針につきまして他にご意見、あるいはご質問ありますでしょうか。全体を通じて何かありますでしょうか。

野津委員 いいですか。確認ですけど。このあと現地は見られる、見ない今日は。

岡田鞆副 今日は天候の事もございまして、また改めましておいで頂ければと思います。

野津委員 せっかく五大地の色んな会があるので。現場をみれば、例えば大海碕の古藤さんがおっしゃったように、具体的にポンと言えますが。個人個人でバラバラに見てると目線が違うんで、一堂に会してどうでしょうか。分かりました、やりましようとなると、馬淵さんも黙って衣装を出されますから。

岡田事務局長 ありがとうございます。今後、会議の時、集まりの会ございましたら、皆様に現地を見てもらう事も入れていきたいと思っております。ありがとうございます。

浅沼委員長 また五大地の皆さん寄って頂くような機会を持っていいただければと思います、よろしくお願いいたします。

③ その他

浅沼委員長 最後に、「③その他」について、事務局から何かありますでしょうか。

岡田事務局長 特にありません。

浅沼委員長 そうしますと、会議を終了し、進行を事務局に返したいと思います。ありがとうございました。

(4) 閉会

岡田事務局長 浅沼委員長様には、円滑な議事運営をしていただきありがとうございました。

これから本番に向けて年数もせまっていますので、ご相談させていただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日皆様方からは様々なご意見をいただきました。展示企画の案のこともございます。皆様からいただきましたご意見を参考に、今後の取組みをして参りたいと存じますので、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上を持ちまして本日の会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

6. 所管課等

松江市文化スポーツ部松江歴史館事務局

電話 0852-55-5511